

【ゆったりと始（はじ）めましょう】

大勢の中あなたへ

ひきたよしあき
博報堂教育財団
コミュニケーション
コンサルタント

ぼーっとしている子どもが心配な親のあなたへ

あなたに手紙を書きます。ぼーっとしている子どもが心配な親のあなたに手紙を書きます。

「長い休みのせいで、子どもがぼーっとしています。心配です」と、保護者からそんな相談がとどきます。言葉数も少なくなったり、食欲もない。学校が始まらない子は、講子がぐるったままになっている。未曾有のできごとに、親のあなたも戸惑っていることでしょう。

私も同じです。これまで分刻みのスケジュールで生きてきたのに、講子がぐるいました。ふとんから出るのもおっくうになりました。

でも、オランダの友人からこの言葉を聞いて、元気が出たのです。「Niksen」、オランダ語で「積極的に何もしないこと」という意味の言葉です。オランダ人は、何もしないことを重視しているそうです。スケジュールを真っ白にして、寝た

いなら寝る。食べたいなら食べる。「あれをしなくちゃ」と思わない。何もしない状態でも、脳は「何もしないことをしている」そうで、働いていないわけではないそうです。

子どもがぼーっとしていても、「動きたくなら動けばいいよ」と肯定してあげてください。子どもはそう言われると、「動きたくなる時」を作りだすはずですよ。

まずは親のあなたが、ぼーっとする時間を作る。これも大事ですね。



ひきたよしあきさんに手紙を書きます。

古の送り先で「ひきたよしあき」へ。

< 5/25 朝日小学生新聞より >

「何（なに）もしないこと」も今（いま）の子（こ）どもたちにとってはとても大切（たいせつ）なこと。とても気持ち（きもち）が楽（らく）になりますね。新（あたら）しい生活（せいかつ）が始（はじ）まり、知（し）らず知らずのうちに疲（つか）れがたまってきます。

ゆったりと始（はじ）めましょう。

必要事項
名前
〒住所
電話番号
学校名/学年

メール
sasaho@asagaku.co.jp
はがき

104-8433
〒104-8433 東京都中央区
1001 朝日新聞社